

「学生とシニアの対話会（九州大学）」事後アンケート結果
 ～ 遠隔対話バージョン ～
 （2021年12月15日開催）

纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数7）

（内訳）理系（エネルギー量子工学） 学部4年：1名、修士1年：2名、修士2年：4名

< 希望進路 >

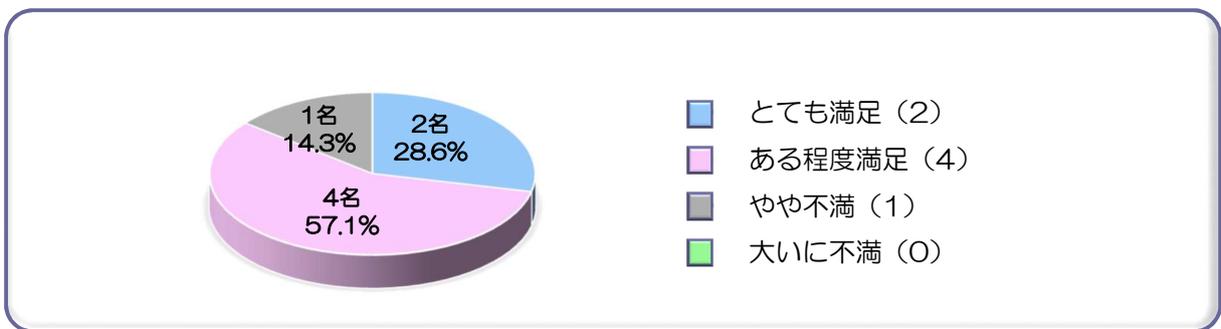
		学部4年	修士1年	修士2年
進 学		1	0	0
就 職	原 子 力	0	1	0
	メーカ-	0	1	0
	そ の 他	0	0	4
計		7		

➤ 講演、対話について

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

※ 講演なし

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



[とても満足]

- ・コメントなし。

[ある程度満足]

- ・原子力について実のある対話ができる。
- ・原子力に従事していた方からの貴重なお話が聞けたから。
- ・質問に答えていただきありがとうございます。

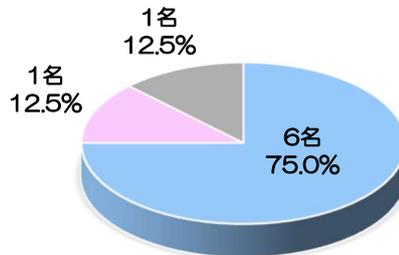
[やや不満]

- ・対話時間が十分でなかった。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

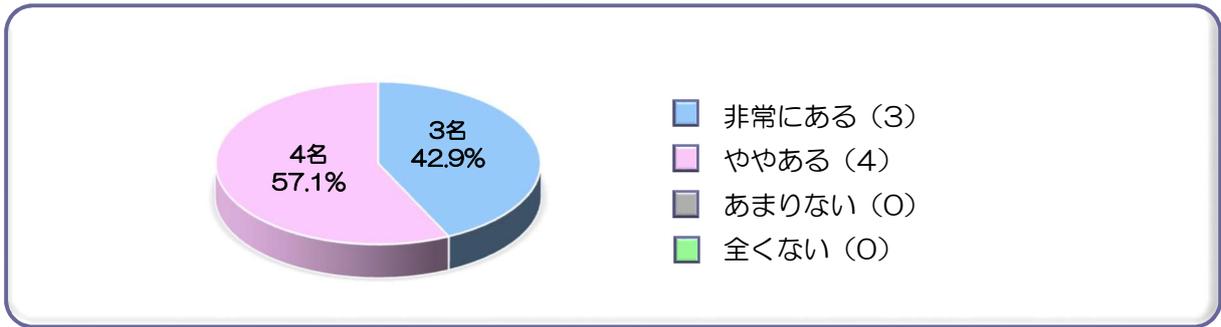


(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）



- 新しい知見が得られた (6)
- マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった (1)
- 自分の将来の進路の参考になった (1)
- 教育指導の参考になった (0)
- 特に新しい知見は得られなかった (0)
- その他 (0)

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



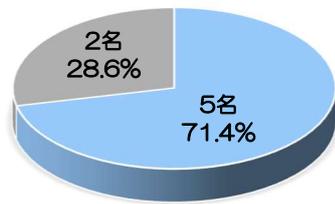
[非常にある]

- ・単純な知識の伝達でなく、その後のきっかけになりうると思う。

[ややある]

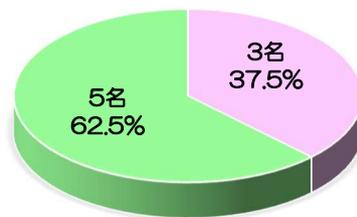
- ・学生だけでは狭い視野での議論しかできなかったから。
- ・普段見られない観点からのお話を伺えるから。

(6) 今後、機会があれば友人や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？



- 勧めたいと思う (5)
- 勧めたいと思わない (0)
- どちらとも言えない (2)
- その他 (0)

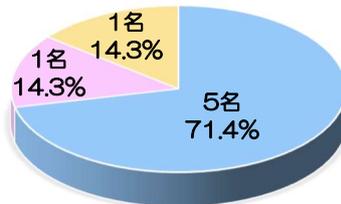
➤ 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)



- 放射線、放射能はやはり怖い (0)
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた (3)
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた (0)
- 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた (5)

➤ 原子力発電に対して伺います。

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえたあなたの認識は次のどれですか？その理由は？



- 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（5）
- 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった（1）
- 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（0）
- 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- どうすればいいかよく分からない（1）

[原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- ・日本の電力需要に対して原発を止めると追いつかない状態になるから。
- ・エネルギーコストを考えると原子力が有効だから。
- ・EV化や電化が進んでいき、電力需要の増加が考えられる中、2050年の脱炭素化のためには再生可能エネルギーだけでは達成は難しいと考えるため。また、世界的には原子力推進傾向であり、日本の産業の保護のためにも重要であると考えため。

[原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった]

- ・環境負荷低減は、もう待たなしの状況だと認識しているから。

[どうすればいいのかわからない]

- ・コメントなし。

➤ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

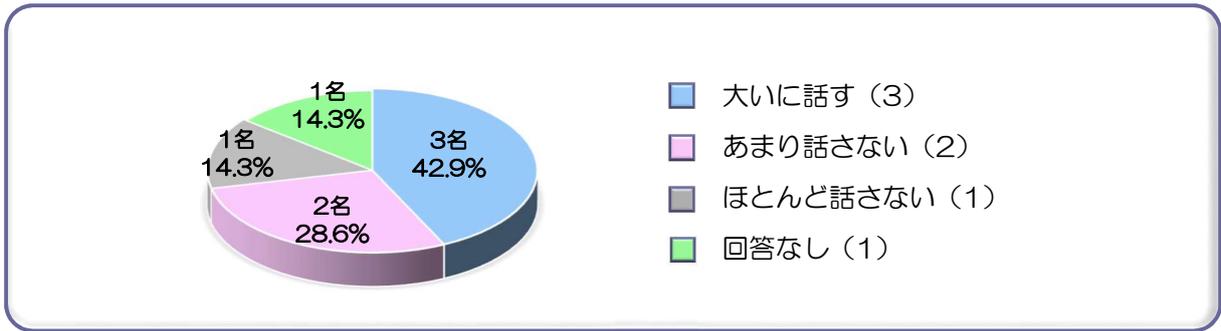
- ・新設や運転延長がない原子力発電の現状が続くと 2070 年には原子力発電比率が 0%になるということで、早急な対応が必要だと感じた。
- ・本対話を通して脱炭素化に向けては、原子力が必要であることを強く再認識できた。日本では原子力の推進に対しては消極的であるため、推進していくためには影響力のあるメディア、政治家などが積極的に原子力を推し進め、世論を原子力賛成の方向に向けることが必要であることを感じました。
- ・可能であれば対面で実施していただきたかったです。

➤ カーボンニュートラル（脱炭素）について

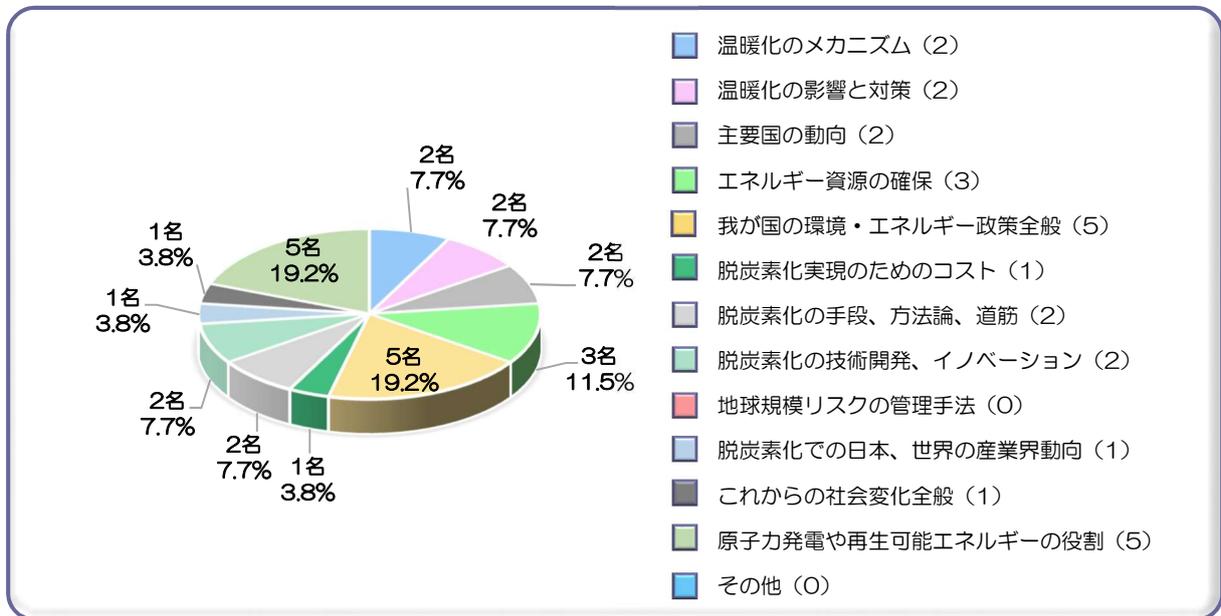
（1）地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？



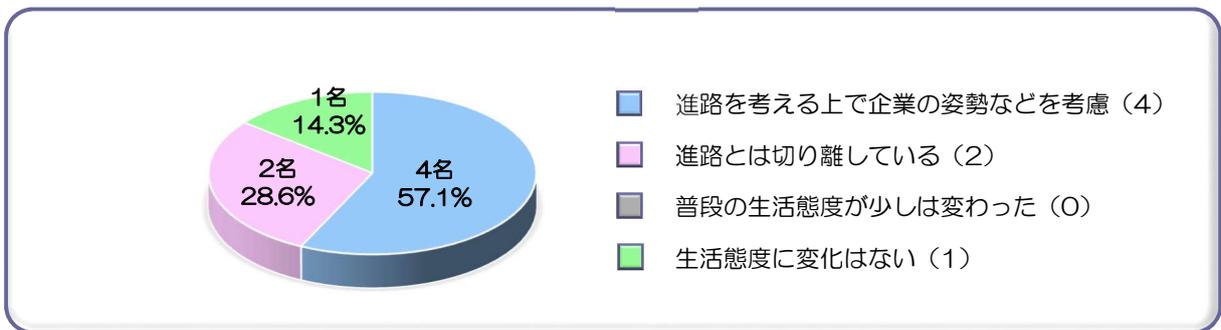
(2) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？



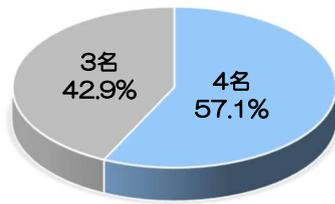
(3) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）



(4) 地球温暖化や脱炭素化社会実現の動向はあなた自身の生活や進路選択に影響をもたらしていますか？（複数回答可）

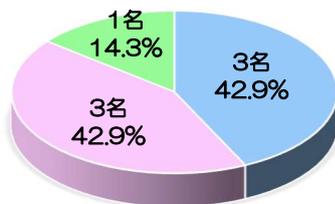


(5) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について見解をお尋ねします。



- 実現するとは思えない (4)
- 相当いいところまで到達する (0)
- わからない (3)

(6) 地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。



- 十分知っている (3)
- 多少知っている (3)
- 知らない (0)
- 勉強してもっと知りたい (1)